

センター通信

子どもたちの未来への架け橋になりますように



伊丹市保護司会
会長 石堂 行文

私たちを取り巻く社会は、かつてない速度で変化しております。情報化やグローバル化の進展により、子どもたちは世界中の人々となつがり、多様な知識や価値観に触れることができるようになりました。これは大きな可能性を秘める一方で、子どもたちが判断に迷い、不安を抱えやすい時代になったとも言えます。

現代の子どもたちは、学習や部活動、友人関係への不安、SNS でのやり取りに対する緊張等によるストレスの中で日常生活を送っており、私たち大人が想像する以上に多くの悩みを抱えています。誰かに相談したくても、「弱いと思われたくない」「迷惑をかけたくない」と気持ちを押し殺してしまう子どもも少なくありません。表面上は明るく振る舞っていても、心の内では深い孤独を抱えている子どもたちがいることを、私たち大人は忘れてはならないと思います。特に、スマートフォンや SNS の普及により、利便性が高まった一方で誹謗中傷やネットいじめ、犯罪への誘い、誤情報の拡散など、子どもたちを取り巻く危険も増しています。相手の気持ちを思いやる力や、自分自身を守る力がこれまで以上に求められています。

また、かつては地域全体で子どもたちを見守る風景がありましたが、人間関係の希薄化は地域や近隣の交流にも見られるようになり、悩みを一人で抱え込む子どもや保護者も少なくありません。孤立は、いじめや不登校、さらには非行や犯罪に巻き込まれる要因の一つにもなります。青少年の非行や犯罪の背景には、家庭や学校での孤独感、自分の存在価値を見失うこと、誰にも相談できない苦しみなど、さまざまな要因が重なっています。私たち大人が子どもの小さな変化に気づき、「どうしたの」と声をかけることが何よりも大切です。ひと声運動の一言が、子どもの心を救い将来を変えることにつながることもあると思われます。

私たち保護司は、罪を犯した方の立ち直りを支援する更生保護活動を通じて、「人は支えられることで変われる」ということを数多く見てまいりました。これは、子どもたちの健全育成にも通じる考え方です。認め、励まし、信じて見守ることが、子どもたちの健やかな成長につながります。家庭は子どもにとって最初の社会です。そして、学校は学びの場であり、地域は安心して成長できる居場所です。この三者が力を合わせることで、子どもたちは困難を乗り越える力を身につけていくことになると思います。子どもたちの未来への大切な架け橋となれますように、家庭と学校と地域が手を取り合った活動がさらに進展することを願います。

ケーブルテレビ「いたみだより」 10月号 「子どもの見守り活動 ～伊丹の少年補導委員～」

(10/3～10/31の土曜・日曜の朝9:00～9:15放送)

ケーブルテレビ「いたみだより」10月号では、伊丹市内で子どもたちの健やかな成長を見守る少年補導委員の活動を紹介し、少年補導委員は、地域の皆さんと連携しながら、子ども達が安全・安心に暮らせる環境づくりに取り組んでいます。番組を通じて、その活動内容を広く知っていただくとともに、地域で子どもたちを見守ることの大切さについて考える機会となれば幸いです。

また、活動に興味を持っていただき、新たに参加してくださる方の輪が広がることを願っています。

出演：伊丹市少年補導委員連合会 会長 林 明美 / 南小ブロック 宮谷 富久美・萩原 香織
天神川小ブロック 澤田 広一・川崎 孝広 / 昆陽里小ブロック 城 茂・阪本 知加子
＜敬称略＞

第2回 愛護補導連絡会

9月10日(木)を皮切りに、市内各小学校区において愛護補導連絡会が順次開催されています。この連絡会は、少年補導委員、PTA愛護部、関係機関が連携し、「地域の子どもは地域で守り育てる」という理念のもと、地域ぐるみで環境浄化活動や補導活動(「愛の一声」運動)を推進することを目的としています。

愛護補導連絡会は各小学校区で年2回開催されており、少年補導委員やPTA愛護部員、主任児童委員小・中学校の教職員、少年愛護センター職員などが参加しています。会議では、各校区の実情や課題に応じて、インターネット利用、自転車の交通マナー、家庭教育などをテーマに情報交換を行うほか、講師を招いた研修会やDVDを活用した学習会なども実施されています。

9月18日(金)に開催された桜台小学校区の連絡会では、伊丹警察交通課の内田氏を講師に迎え、交通安全に関する講話が行われました。報告によると、伊丹市における令和7年中の人身交通事故は365件で、令和6年と比較して75件減少したものの、令和8年(8月末)は、昨年同期比で16件増加しているとのこと。また、朝と夕方の時間帯に多く発生しており、特に市道の信号のない交差点での事故が目立つことが紹介されました。その主な原因は、「うっかり見落とし」「相手に気付いていたが、出てこないと思い込んでいた」など、油断や思い込みによるケースが多いことが説明されました。意見交換では、旗当番を務める参加者から「子どもたちよりも大人の交通マナーの方が悪い場合があるが、どのように対応すべきか」といった質問も出され、地域全体で交通安全意識を高めていくことの重要性が改めて確認されました。

今後も、こうした取組を各ブロックや地域でさらに充実させ、未来を担う子どもたちを地域全体で温かく見守りながら、その健全育成に努めてまいります。

伊丹の交通事故発生状況 —伊丹の交通事故ミニ白書(令和8年8月末)より— 伊丹警察署発

区分 年	人身事故件数	自転車事故		死者数	負傷者数	重傷者数	物損事故件数
		(件数)	(構成率)				
令和8年8月末	241	79	32.8%	0	263	13	3,137
令和7年8月末	225	81	36.0%	1	242	8	2,910
前年同期比	+16	-2	-3.2%	-1	+21	+5	+227

9月補導活動 — 暫定値 —	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	1768	136	90	341
声かけ/会話等	195	28	21	68
(内) 遊びに関して	4	0	5	0
問題 交通に関して	9	2	10	5
行動 その他	20	0	0	2

相談件数(9月)	
電話相談	1件
来所相談	1件
メール相談	0件

＜10月の予定＞

5(月)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会
5(月)	伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会
9(金)	広報啓発活動(有岡・萩野・緑丘) 一斉補導(瑞穂・摂陽)
15(木)	伊丹市少年育成協会 第2回 常任理事会
16(金)	繁華街特別補導(池尻・神津・花里)
20(火)	伊丹市少年補導委員連合会 管外研修

9月～11月

10月開催

(随時)

第2回 愛護補導連絡会 (各小学校区)

10月実施ブロック () 内は実施日

鈴原(2) 瑞穂(8) 昆陽里(14) 南(22) 稲野(29)

第2回 学校補導連絡会 (各中学校)

天王寺川(14) 南(23) 荒牧(23) 笹原(26)

松崎(26) 西(27) 東(30) 北(11/20)

街頭補導活動 (各小学校区)

中学校区内補導活動 (各中学校区)

電話・来所・メール相談(愛護センター)

「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(TEL072-780-3540)までお寄せください。